



# 大崎ものづくりネットワーク協議会 10周年の歩み

ものづくり達人企業の緩やかなネットワーク



## 設立経緯

大崎ものづくりネットワーク協議会は、平成20年10月10日に設立されました。「富県宮城」を推進している宮城県では、平成22年までに、東京エレクトロン宮城(株)やセントラル自動車(株)（現在のトヨタ自動車東日本(株)）などの大手企業の仙台北部地域への進出が予定されていました。

隣接している大崎地域の企業においては、進出企業との新規取引が期待される一方、新たな大量雇用の発生による人材の確保難も懸念されていました。

このようなことから、大崎地域における、ものづくり企業の経営基盤強化のため、技術力や生産性の向上、人材の育成・確保、企業相互間の情報交換と連携を図ることを目的として、大崎地域（大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町）の意欲あるものづくり企業が中心となって、この協議会が発足しました。

大崎地域1市4町（大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町）には、創造力あふれるものづくり達人企業が集結しています。

大崎ものづくりネットワーク協議会では、会員企業がさらなる発展を成して、地域共生の力を付けるために、技術力や生産性の向上を目指し、各種研修会、先進施設視察、人材育成及び情報提供などの事業を行い、大崎地域のものづくり企業などの緩やかなネットワークによって、取引拡大や企業体質の強化を支援してきました。

**平成20年10月10日**

大崎ものづくりネットワーク協議会設立総会  
大崎地域初のものづくり企業のネットワーク組織が  
立ち上げられました。



**平成23年6月24日**

東日本大震災後の初の総会では、復興に向けて、「がんばろう三唱」の声を挙げました。

◆ 総会時講演会

総会時には、毎回併催して、そうそうたる講師から御講演をいただきました。

《技術高度化へ向けた取り組み》

◆ 先進施設視察研修

平成20年度の協議会設立当初から、途切れることなく、続けられています。

◆ 自動車部品・機能・構造研修会

平成21年度から実施され、トヨタ系企業との  
取引引きが始まった企業も出てきています。



《取引引き拡大に向けた取り組み》

平成24年11月22日 / 平成27年2月20日

地域版「車を考える会」in大崎（東経連ビジネスセンター共催）

東北地方では初の2回の開催となりました。

## 《産学連携による取り組みの推進》

学術機関等と会員企業との交流の場を設け、講演会・情報交換等を行いました。

(東北大学、東北学院大学、東北工業大学、石巻専修大学、仙台高等専門学校、一関工業高等専門学校、東北職業能力開発大学校 等)

## 《ものづくり産業を担う人材育成》

### 【ものづくり交流事業／高校生向けなど】

#### ◆ 現場訪問（工場見学等）

平成20年度の協議会設立当初から続けられています。

工場見学を通して、入社を決めた生徒も出てきています。

#### ◆ ものづくり体験講座

自動車研修会で、自動車の部品分解組立作業を通じて、ものづくりに興味を感じてもらいました。



#### ◆ 高校教員ともものづくり企業との情報交換会

#### ◆ 高校生向け企業紹介資料の作成・配布

平成27年度から、高校生にもわかりやすい表現を使った企業紹介資料を作成しています。

※ 会員企業が高校へ出向いて、出前講座を行ったこともありました。

### 【企業社員向け】

#### ◆ 研修経費助成

#### ◆ 生産改善着眼点養成研修

平成29年度から、県自動車産業振興室と共催でTPS基礎研修やTWI-JR研修を実施し、自ら考えることに重きを置いた研修を展開しています。

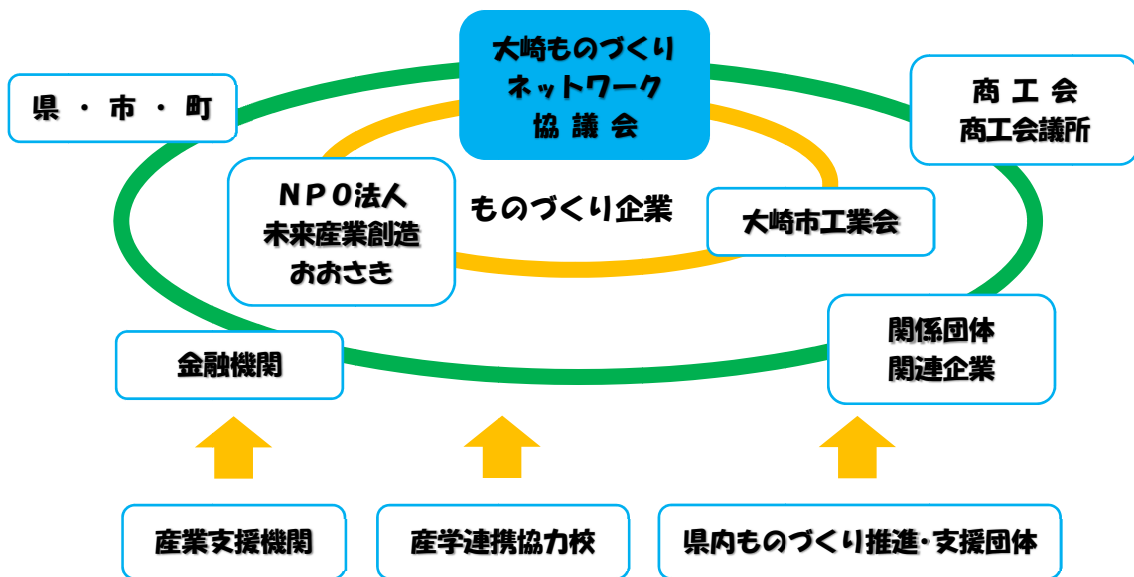
#### ◆ 志を創る研修会

故藤田会長が講師となり、社員としての自覚を促すための研修を実施しました。

## \* おおさき産業フェア \*

第1回開催から共催事業として参画しています。NPO法人未来産業創造おおさきが中心となった実行委員会でイベントの盛り上げに努めています。

## 大崎地域のものづくり産業の振興



平成30年6月18日現在

会員 48企業（普通会員：32企業 賛助会員：16企業）

参与 11団体

### 初代会長 故 藤田 武人 氏（平成20年10月～平成29年11月）

平成20年の設立時から平成29年に急逝されるまで、約9年間に渡り、  
会長としてご尽力をいただきました。「創志」「志を創る」という言葉を大切にされ、  
ものづくりにおけるひとづくりに心を砕いておられました。



「志」：語源は「心指す」であり、漢字の成り立ちの「士」は歩く足の象形「之（ゆく）」の略字  
で、「心」と合わせて、「心の目指す行き先」という意味である。

「創」：漢字本来の意味は「刃物による傷」であり、そこから転じて「何かを始める、つくる」と  
いう意味になった。ただ単につくることではなくて、「はじめてつくる」というニュアンス  
を含んでおり、誰かがつくったものを模してつくるのは「作る」であって「創る」ではない。

### 大崎ものづくりネットワーク協議会事務局

〒989-6117 大崎市古川旭四丁目1-1（宮城県北部地方振興事務所地方振興部内）

TEL: 0229-91-0744 FAX: 0229-91-0749 Eメール: nh-sinbk@pref.miyagi.lg.jp